

会 議 録

会議の名称	平成26年度第7回富士見市社会教育委員会会議
開催日時	平成27年2月9日（月）午後7時～9時
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	高野昂子委員、西山ひろみ委員、武田秀規委員、長ヶ原美博委員、本間雄一委員、田尻 円委員、小森和雄委員、児玉亮一委員、岩村沢也委員 事務局（生涯学習課主査）
欠席者	千葉純平委員、
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	<p>1. 協議事項</p> <p>（1）報告書の作成について</p> <p>（2）その他</p> <p>2. 報告及び連絡事項</p> <p>（1）第5回入間地区社会教育委員部会 平成27年度2月6日（金） 長ヶ原委員、小森委員</p> <p>（2）第20回入間地区生涯学習フォーラムについて 平成27年2月20日（金）川越南文化会館</p> <p>3. その他</p> <p>（1）その他</p> <p>*次回会議日程 日時：平成27年3月19日（木）19時～ 会場：教育委員会会議室</p>
会議資料	① 次第&原稿5種類 ②公民館だより（1・2月号）&水谷東公民館だより2月号 ③平成26年度入間地区市町社会教育委員研修会報告書 ④平成26年度学校応援団パンフレット ⑤第29回富士見市地域・自治シンポジウムのチラシ ⑥平和学習会チラシ ⑦おかあさんの勉強室チラシ ⑧第20回入間地区生涯学習フォーラムのご案内 ⑨第五回入間地区市町社会教育委員部会報告書
会議録確認	武田秀規委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会 事務局から、配布物確認を行う。

◇ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

【議長（武田氏）】

(1) 報告書の作成について

5月までに報告書をまとめなければならない。

目次は、以下の通り。

- 1、はじめに
- 2、現状と課題
- 3、意見と考察
- 4、具体的な提案 (1) モデル事業 (2) ホームページ
- 5、行政への提言
- 6、おわりに

本日は、お持ちいただいた原稿を詰めていく。

「はじめに」を二人の方が書いてくれたので、これを一つに纏めていく。

【委 員】

基本的に文体は、です・ます体か、である体か。

【議長】

です・ます体。

【委 員】

「はじめに」の分量は、A4 1枚か？

【議長】

前期はA4 1枚より少ない。文字サイズは12ポイント。

【委 員】

余白設定など決まっているか？

【事務局】

特には決まっていない。前回のものをひな形にして割り付けいく。

【議 長】

長ヶ原委員の「富士見市教育振興基本計画には」は、あったほうが良いと思う。
これを基にして社会教育委員会議で検討した。

【委員】

西山委員の中にも「富士見市教育振興基本計画」というのがあるが、これが社会教育委員会議の中のものなのか、それとも市全体のものなのかというのが見えない。長ヶ原さんの方は、全体の流れを言っているので通じてくる。

西山委員の「現状と課題」は箇条書きでまとまっているので読みやすいが、もう少し言葉が必要。

【議長】

西山委員の最後の5行は、読み難いので2つ3つに区切ったほうがいい。何回会議を持ったとか入っているが、表にまとめてもらった方が良く。

【委員】

前期からの流れを少しも加えなくていいものなのかが判断できない。

【事務局】

基本的にこうしなければいけないというものは無い。

【委員】

この「家庭教育支援～」は、教育委員会から諮問された形か？

【事務局】

諮問した形ではない。

【議長】

前課長から投げ掛けがあって、「でもこれをやってくださいと云う訳ではない。」と言われた。

【委員】

28期の「地域活動の活性化と次代を担う仲間づくり」の提案というのは、社会教育委員の中で提案をしていったということか？

【委員】

そう。

【委員】

同じスタンスで、29期にテーマを変えて取り組んでいるということ。なんでそう思ったかという気づきを入れないといけない。

【議長】

西山さんの6行目の「社会教育委員会議では」を取って、長ヶ原さんの「富士見市教育振興基本計画には」を入れたらどうか。

【委員】

前回目次をいただいたが、このほかに活動記録とか、他の資料とかを付けるか？

【事務局】

活動記録は会議一覧とか、会議の中で配布した資料とかを載せていける。

【議長】

「現状と課題」に移行する。「はじめに」とダブってくるところがあれば検討する。

【委員】

「はじめに」と「現状と課題」を含めて1ページにするのなら、法律のところはバッサリ切ってしまうかどうか。

【議長】

法律を「現状と課題」のところに入れるとすれば、頭に持ってくるか、最後に持ってくるか、分けた方がスッキリと見える。

【委員】

書き方は文にした方がいい。課題はアクションなので動詞がほしい。

【議長】

「はじめに」で述べられていることを、現状と課題でもう少し具体的に示した方がいいのではないか。報告書全体の組み立てからいうと、現状と課題を分けない方が書きやすいかも知れない。

現状を具体的な課題にして、そこから意見考察に繋がってこないといけない。意見考察から具体化したものとしてモデル事業・ホームページに繋がってくる。

【委員】

現状と課題は呼応してなくて良いか？例えば近年の都市化、核家族化、少子化が、地域の地縁的なつながりを無くしている、じゃあ課題としてこうしようと、しなくて良いか？まったく別のところの話でいいのかな？と思っていた。

【議長】

分けなくていいと思う。現状がこうだから課題なんだということ。その方が書き易いという気がするが。

【委員】

なるほど。希薄化しているからこういう風な課題を・・・という感じ。

【委員】

言ってみれば、現状事態が課題ということ。

【委員】

それであれば、長ヶ原委員の文章で、真ん中を外せばいいのではないか。

【委員】

意見・考察というのは、この協議会の立場か、個人の立場か。

【事務局】

社会教育委員会議の報告書となるので、社会教育委員全員の責任で個人の意見を載せるのは良いと思う。

【議長】

ベースになるのは、当然これまで重ねてきた会議の中身からだと思う。皆さんの共通認識のもとで出さないといけない。

【委員】

文責みたいのは置くか？

【事務局】

今までは置いていない。

【委員】

具体的な話になると、執筆者じゃなくちゃ分からないみたいなこともる。

【議長】

社会教育委員会議の公性を考えると一個人ではない。報告書のベースになるのは議事録。そこから課題というものを抽出して、こうしたら良いとかこれはダメだとか、議事録から抽出して纏めるといいう形が書く方がやり易い。

報告書についてどこかで聞かれた時に、委員誰もが同じ返事が出来るというか、基本的には同じ立場で、こういうことになりましたと話ができないといけない。

【議長】

現状イコール課題みたいな形で良いのではないかなと言う感じがする。長ヶ原委員が纏めてくださって法律との関連をどこまで言及するかとういことはある。失礼ながら、法律を持ってきたというのは？

【委員】

それは教育学の言及が当然あるだろうなと思ってたから、原点をどこに出発を持っていくかという、私にとってはこれしかなかった。確かに議論をしてきていますけれど、我々の中でぶれながらの議論だったので。

【議長】

むしろ「はじめに」に入れた方がいいのではないか。

【委員】

この二つ、「現状と課題」と「はじめに」を、12ポイントで、1ページに入れていく？

【議長】

制限が有る訳ではないが、前任者からの引き継ぎでは、2ページになると読み難いのではないかということ。A4 1枚以上になってはいけないという訳ではない。

【委員】

教育基本法の改定、法令のところは大事だと思う。それから委員会の位置づけもそうだが、だれでもうちょっとコンパクトに、条文を全部出さなくてもよい。例えば、新しい教育基本法では、家庭教育がより重視され、地域間の連携への必要性が謳われている。そのくらいにしておいて示すというやり方かどうか。

【議長】

むしろここではなくて、「はじめに」か「おわりに」に持っていくほうが良い。

【委員】

「はじめに」の中に入れておいて、詳しい解説は入れなくてもいい。

【委員】

注1、注2・・・というように注釈で入れるということもある。

【議長】

途中で止まっちゃうので、読みたい人は読んでもらえばいいと思う。スラスラ読んでもすぐ分かる文章にしなくてはいけない。ページの下段なり、一番最後に注釈をつける。

では、「現状と課題」は、今皆さんでお話いただいたので、推敲していただきましょう。それを受けて、「意見・考察」に入る。

【委員】

作る以上はやっぱり一本ちゃんとした流れが必要だし、それぞれ独立していても、読み手にとってはインパクトがない。既にモデル事業とかホームページについての提案が出ているならば、繋がるような意見考察を作らなければならない。

【議長】

モデル事業については、皆さんのお話の中で集約されたと思います。そこまでの過程も含めて書くと読み易いと思う。

【議長】

考察の話はずっと重ねて来ておりますし、議事録にまとめてきておりますから、そういう所から拾いだしていただきたい。

【委員】

「考察」って、こういう意見が出ていたと、会議録から拾うんですか、それともわたしの考えなんですか。

【議長】

「意見と考察」「考察と意見」順序は一括りでいい。「現状と課題」は基本的には皆さんから話が出てきたこと、そこからご自身でふくらましても良いが、今まで話が出ていないことを書くわけにはいかない。

【委員】

「意見と考察」を分けて書いた方が良いか？

【議長】

それぞれ書き方があると思う。

【議長】

「考察」だけでいいのではないか。「意見」と言うと、自分の意見を言いたくなる。あくまでも、今までの纏め。本当は客観性があるかどうか言及するんですけど、こういった意見が出ましたと、いうことです。

現状がこうで、こういう課題があるという所から、モデル事業・ホームページに結びついてもらわないと困る。「考察」は具体的にある様子をこうだと、それに対してどうしたら良いんだろうというのが「意見」。その意見を具体化すると、こういう事業になるんじゃないか。その意見も、当然この会議で、こうしたらいいんじゃないかこういうのが良いんじゃないかとこれはだめじゃないのか、という意見が出てきた。

【委員】

まだ5ヶ月あるから個々からご意見を出してもらっても構わない。書いてくる中でやっぱりこうじゃないのと思ったことは、執筆して皆さんに見て頂く必要がある。それは全く今までのことだけを書けばいいという話ではないと思う。

もう一つ気になっているのは、一個人の資格で、この会議に2年間出ている、個人としてこう思ったとか、こういったことを提案したいということは、あってもいいんじゃないのかなと思う。全体の総意とは別に。そうじゃないと、最大公約数で全然面白くないものが出来てしまう。

【委員】

最高裁なんか、総体の意見はこうだったけれども、少数意見がいっぱいありますね。ああいう感じですか？ 人によって、ちょっと違う意見があって、こういう意見もあった、こういう意見もあったという書き方ですか。

【委員】

一人ひとりの感想の中に、こういうことも必要なんじゃないかと思うということを書くという形にしてもいいのではないかと思います。

【議 長】

事務局としてはどうですか。

【事務局】

岩村委員がおっしゃっていただいたようなやり方も、文責みたいな話を入れて出すというのは、面白いかなとは思いますが、最終的なものを全員で見て、これで行こうねとなれば、問題ないと思う。

しかし10人いると、中には自分の意見を書けない方もいるかもしれないので、そこはどうかと思う。皆が皆書くべきなのか、書きたい人だけ書くのか判断に迷う所。

【議 長】

岩村委員がおっしゃるように、個人個人の私はこう思うというのが当然あっていいと思う。この場で発表して、こう思うんだけど、ここに入れたらダメかなと言うことを出して頂ければいい。ですから自分の担当以外のことでも、こうしたら良いんじゃないのということがあれば、どんどん指摘していきたいと思います。

【委 員】

意外と個人で書いた方が、アイデアとして面白いものが出たりする。ブレインストーミングのひとつの種としてこういうのを残しておくのが良い。

【議 長】

私のところは、今までの中から拾って書こうと思う。まるっきりフリーで書いていただくと、今までの15回が何だったのかとなるので。

【議 長】

では、小森委員、掻い摘んで要点をお話ください。

【委 員】

「情報の一元化と共有化に向けて～連携の強化と情報の影響へ～」とテーマをつけました。細かく書くに当たっては、4つに分た。

1つは、「現在は、情報は多いが孤独な時代」とし、これは、ご近所とのつながりが薄いとお話が出たのでそれを取り上げた。

2番目は「情報は行政頼り」とし、色々な情報が行政から出ているよというお話があったので、これを書きました。若いお母さん方は行政に頼るしか情報をえるのは無いだろうということ。

3番目は「参加したくてもできない催し」。小中学校で色々な催しがあるけれども、その学校区の方は分かる。けれど、他の方は参加したくても区が地学川分らないというお話があったので、そこを捉えて書いた。

4番目に纏めて「行政への提言」とし、これらをひっくるめた形で提供できる仕組みを行政の方をお願いしたいということで纏めた。

このことが、ホームページ活用に書いてあることとよく似ている。行政さん具体

化してよと言った時に、千葉委員が書いてくれたことが、こういうことをやってもらえばいいのかなと、けっこう繋がっているかなと思う。

【議 長】

小森委員の文章の後に、千葉委員の文章が来た方が自然？

【委 員】

最初の項目分けの時は、情報の一元化というのは全く意図されていなかった。モデル事業が出来なくなったということを受けて、突然これだけぽつんと出て来た。今までとは分断した形で出てきた。だからホームページなんかは、どちらかというと一緒にしたって構わないくらい、リンクはしている。

【委 員】

この順番は要検討かも知れない。

【議 長】

小森委員がおっしゃったように、千葉委員のところとダブったりリンクしたりある。小森委員の文章の後に千葉委員のが来る方が自然なような気がする。

【委 員】

ホームページについては、ここに書いてある通りですが、問題は、誰が管理するか。誰も管理しなければ誰もやらない話になってしまう。

【議 長】

今まで報告書であると、例えば、情報スペースを駅に作ればいいというものがあったが、では予算は何処がどこから出るのかと言えば肝心なことがない。

事務局の話では現実には今のホームページのレイアウトを変えればいいのか、それくらいのことだったら可能ではないかという話。

【委 員】

市のホームページは、誰が統括しているか？

【事務局】

秘書広報課、広報ふじみを作っている所。一番大元の管理者で、ページ全体をみている。各ページは、担当課が、情報を入れたりしているんです。

【委 員】

社会教育的なところで、こういうのをやった方が良いのではないかと言った時に、秘書広報課が率先してやる訳ではない。それに関連している団体なり、社会教育委員会会議なりが自ら動かないとなんとなく、無くなってしまう。

【委 員】

今までは富士見市のホームページは、与えられたところは、各課が自分の所で打

てば、変わるというシステムになっているような感じ。でも縦割りにになっていることに変わりはない。

【事務局】

以前、議長からホームページの案が出ていて、子どもの年齢によってどういうイベントがあるのか、どういうものに参加できるのかとかリンクが張ってあって、そういうのが見やすいし、いいなと思った。すぐには変えられないが、そういう提案を頂ければと思った。社会教育委員会議の中での提案を、声として伝えていくことが大事。

【委員】

今のホームページに対して具体案があると説得力がある。

【議長】

小森委員と千葉委員の文を逆にした方が、報告書とした方が良いと思う。

千葉委員にも小森委員の文章を見て頂ければ、少し書き方を整理してくれるかも知れない。千葉委員には調整していただいて、小森委員・本間委員は、それを見た上でちょっと整理を。

【議長】

モデル事業案はこれまでに出了たプログラムを集約して箇条書きにした。

【委員】

これは広げる、章化するか？

【議長】

しない。広げた方がいいと言えは広げるが、3～4ページになってしまう。ぱっと見て、すぐこんなこと出来そうかなと言うような見易さを優先した。

【委員】

「どのようなテーマ・内容を」の所は、これだけで分かるのかなと思った。その上まではそれだけ読んでも通じるが矢印等がよく分からない。

【議長】

矢印は、やりたい時の相談先という意味。そこは書き方を整理する。

【委員】

例えば「スマートフォンの使用についての注意点」だが、スマートフォンの使用のどういったところでの注意点なのか、インターネットなどの情報トラブルと言うのはどういったものがあるのかとか、ピアサポートって何か、そのあたりは説明が必要と思う。

【委員】

ただ一方で、形式にこだわらないで、分かればいいという風にする。要するにこういったことにももう少しエネルギーを割いてやっているよりも、本当は内実を良くした方が良い活動になる。やり方次第。

【議 長】

「ですます」、箇条書き、数字にするのかアルファベットにするのかと言う所は、当然そろえた方がいい。

この方が伝わり易いんじゃないかという形を一回出してもらい、あとは箇条書きより文章が良いなど少しずつ微整理していくのはどうか。

一応、目を通していただいて、直す箇所があれば、次回の会議までに直していただければ、時間の節約になると思う。

【委 員】

配付した「お母さんの勉強室」と言うチラシを見て頂きたい。実施例としてやろうとしていたことが出来なかったのですが、家庭教育学級の実施例として取り上げられるなら、ちょうど水谷東の事業なのでチラシを届けてもらった。来てもらうのはいっこうに構わないということなので行ってみようと思う。

【議 長】

報告及び連絡事項に移ります。

【委 員】

(1) 第五回入間地区社会教育委員部会（長ヶ原委員、小森委員報告）

平成 27 年 2 月 6 日（金）に実施。

内容は、1、平成 26 年度事業の報告と 2、平成 27 年度事業計画（案）について、3、会計報告、4、その他。 会計報告で、研修会実施当たっては会場が必要で、メイン会場と分科会のいくつかの部屋が必要で、有料になるか無料で出来るかが大きい。活動費が年間 5 万円あるがとても賄えないということ。所沢市・川越市でやった時は減免されたので助かったが、今後会場探しが大変だということ。最近施設が無料化から有料化に変わっていて、それが問題だと出ていた。その他で、今月、フォーラムがあることが報告された。各市町の情報交換が裏面にあります。

(2) 第 20 回入間地区生涯学習フォーラムについて

期日：平成 27 年 2 月 20 日（金）13 時開会

会場：川越南文化会館（ジョイフル）

研修テーマ：「社会教育関係団体の活性化に向けて」

参加できる方は申し出ください。長ヶ原委員、小森委員、は参加。

先方に伝えて置く。

*所沢市・川越市の良い先進事例を発表するので、ぜひ参加を進めてくださいとのこと。

3. その他

(1) その他

*次回会議日程

日時：平成27年3月19日（木）19時～

会場：教育委員会会議室

2週間前に案内を送るので、その前までに文章を提出のこと（欠席の場合にも）。

5 閉会

【副議長】遅くまで、お疲れさまでした。次回まで頭を悩ますことと思いますが、事前に読んで会議に臨みたいと思いますのでよろしくお願いします。

以上で平成27年2月の定例社会教育委員会議を終了いたします。

（閉会）